

The 4th Matsuyama International Symposium on Cell-Free Sciences (PIM2006)
 プロテイン・アイランド・松山 国際シンポジウム2006
第4回 無細胞科学松山国際シンポジウム
 October 6 (Fri), 2006, ANA HOTEL MATSUYAMA, 3-2-1 Ichiban-cho, Matsuyama, JAPAN

開催報告

第4回 無細胞科学松山国際シンポジウム

2006年10月6日(金)、松山全日空ホテルにおいて「プロテイン・アイランド・松山 国際シンポジウム 2006『第4回無細胞科学松山国際シンポジウム』」が開催されました。今回は無細胞タンパク質合成法の応用の可能性に焦点を合わせ、感染症研究分野とメタボローム研究分野を中心に、カロリンスカ研究所(スウェーデン)、ライデン大学(オランダ)、ミシガン州立大学(アメリカ)、ウィスコンシン大学(アメリカ)の他、国内からも第一線の研究者を招待し、最新の研究状況についての講演をいただきました。

参加した200名を超える大学や企業からの研究者、ポスドク、大学院生など若手研究者も質疑・討論に加わり、活発で濃厚な国際シンポジウムとなりました。



遠藤弥重太教授による開会挨拶



受付



熱心に聞き入る聴衆



講演の様子



質疑応答の様子

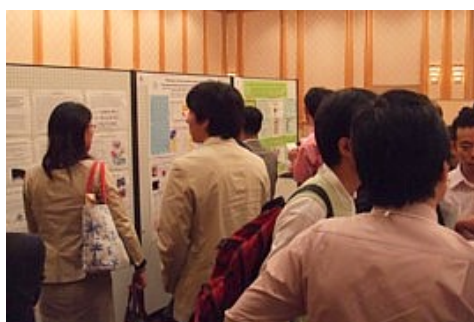


記者会見の様子

企業展示ブース by株式会社セルフフリーサイエンス



ポスターセッション by大学関係者





懇親会

シンポジウム終了後の懇親会では、参加者は振る舞われた料理や愛媛大学ブランド焼酎“自由人”を楽しみ、国際会議の余韻に浸りながら、活発に意見交換を行っていました。サイエンスから日常の話題にまで及び、リラックスした国際交流のひとつとなりました。



一般・企業向けセミナー

2006年10月8日(日)、松山市総合福祉センターにおいて、PIM国際シンポジウム2006 一般・企業向けセミナー「愛媛から世界へ～挑戦、バイオサイエンス～」が開催されました。

最初に主催者を代表して、上甲啓二愛媛県経済労働部長(加戸守行愛媛県知事代理)、中村時広松山市長、小松正幸愛媛大学長による開会挨拶が行われ、続いて愛媛大学と愛媛大学発ベンチャー企業からお迎えした4人の講師による講演が行われました。

講演では、皮膚医療と紫外線との関係や、細胞が増殖する契機となるタンパク質の研究の話、無細胞タンパク質合成技術がもたらす可能性の話、バイオベンチャー企業の営業戦略に関する話などが紹介され、高校生約70人を含む一般市民、企業、学生など約280人の参加者は熱心に聞き入っていました。



主催関係者

愛媛県経済労働部長 上甲 啓二 氏
(愛媛県知事代理)

松山市長 中村 時広 氏

愛媛大学長 小松 正幸 氏



愛媛大学大学院医学系研究科長
感覚皮膚医学分野教授
橋本 公二 氏



愛媛大学大学院医学系研究科
生化学・分子遺伝学分野教授
東山 繁樹 氏



愛媛大学
無細胞生命科学工学研究センター
進化工学部門長 教授
戸澤 譲 氏



株式会社セルフリーサイエンス
取締役営業部長
高田 雄一 氏

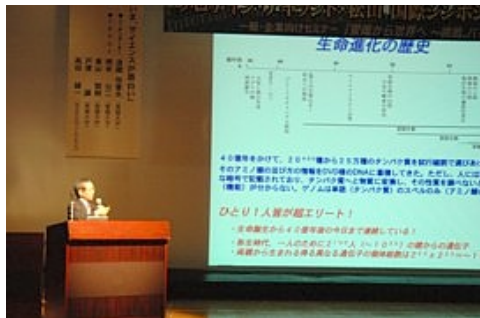


講演の様子



会場の様子

休憩を挟んでのパネルディスカッションでは、冒頭に遠藤弥重太教授が「タンパク質と遺伝子の関係」について、基礎から未来の展望にまで及ぶ講演を行った後、遠藤教授をコーディネータに4人の講師による討論が行われました。会場との質疑応答では、高校生の参加者から研究で挫折したときの対処法についての質問が出るなど、興味深い内容となりました。



愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター長
遠藤 弥重太 教授による講演



パネルディスカッションの様子

プログラム

第4回 無細胞科学松山国際シンポジウム

日時: 10月6日(金) 9:10 ~ 18:00 場所: 松山全日空ホテル本館4Fダイヤモンドボールルーム

時間帯	* 講演 35 分, 質疑応答: 5分. 使用言語: 英語(日本語への同時通訳はありません)
9:10-9:15	開会挨拶
9:15-9:40	遠藤 弥重太 (愛媛大学) “Overview of the Conference”
9:40-10:20	ディミトリー A. ヴィナロフ (ウィスコンシン大学マディソン校) “Wheat Germ Cell-Free Eukaryotic Protein Production at the CESG”
10:20-10:35	Coffee Break
10:35-11:15	戸澤 譲 (愛媛大学) “Applications of the Cell-Free Technology to Metabolic Engineering”
11:15-11:55	アンドレアス P.M. ウェーバー (ミシガン州立大学) “From Genomics to Proteomics to protein function in the thermoacidophilic red microalga <i>Galdieria sulphuraria</i> ”
11:55-13:25	Lunch Break
13:25-14:05	齊藤 和季 (千葉大学, 理化学研究所) “Metabolomics-based plant functional genomics highway”
14:05-14:45	山本 直樹 (国立感染症研究所) “New Strategies Targeting HIV.”
14:45-15:00	Coffee Break
15:00-15:40	アンディー P. ウォータース (ライデン大学) “Plasmodium gametocytes in the starting blocks: the control of RNA homeostasis”
15:40-16:20	

	マッツ ワールグレン (カロリンスカ研究所) “Understanding Severe Malaria”
16:20-16:35	Coffee Break
16:35-17:15	坪井 敬文 (愛媛大学) “Wheat germ cell-free translation system: An application for the genome-wide screening of novel malaria vaccine candidates”
17:15-17:55	堀井 俊宏 (大阪大学) “Clinical development of the SE36 malaria vaccine targeting the Achilles heel antigen of Plasmodium falciparum”
17:55-18:00	閉会挨拶
18:00-18:30	ポスターセッション

一般・企業向けセミナー

日時: 10月8日(日) 13:30 ~17:00 場所: 松山市総合福祉センター1F 大会議室

時間帯	内容
13:30-13:40	開会挨拶
13:40-14:10	橋本 公二 (愛媛大学大学院医学系研究科長 感覚皮膚医学分野 教授)「光と皮膚」
14:10-14:40	東山 繁樹 (愛媛大学大学院医学系研究科 生化学・分子遺伝学分野 教授)「細胞増殖の制御とその応用」
14:40-14:50	休憩
14:50-15:20	戸澤 譲 (愛媛大無細胞生命科学工学研究センター 進化工学部門長 教授学) 「無細胞翻訳技術のタンパク質科学への応用展開」
15:20-15:50	高田 雄一 (株式会社セルフリーサイエンス 取締役営業部長)「あるバイオベンチャーの挑戦」
15:50-16:00	休憩
16:00-17:00	パネルディスカッション「いま、サイエンスが面白い」 コーディネーター: 遠藤弥重太(愛媛大学理事、無細胞生命科学工学研究センター長 教授) パネリスト: 橋本公二・東山繁樹・戸澤譲・高田雄一

組織一覧

- 主催 : 愛媛大学, 愛媛県, 松山市, 松山商工会議所
- 協賛 : 株式会社セルフリーサイエンス
- 運営体 : プロテイン・アイランド・松山(PIM)国際シンポジウム実行委員会
- 共催 : 愛媛経済同友会, 愛媛県中小企業団体中央会, 愛媛県中小企業家同友会, 財団法人えひめ産業振興財団, 財団法人松山観光コンベンション協会, NHK松山放送局, 愛媛新聞社
- 後援 : 日本生化学会, 日本化学会, 日本農芸化学会
- 事務局 : プロテイン・アイランド・松山(PIM)国際シンポジウム実行委員会事務局



Organized by Ehime University, Ehime Prefectural Government,

Matsuyama City Hall, Matsuyama Chamber of Commerce and Industry

Operated by Protein Island Matsuyama International Symposium Organizing Committee